

最優秀提案者の提案概要

○最優秀提案者の提案概要

～市役所外観とその周辺～

- ・DX化により市庁舎は「手続きの場」から「集う場」と変わり、図書館と併せて魅力的な街づくりの要となることが大切と考えます。



○基本方針・コンセプト

「ひとつながりの未来の庁舎『鎌倉 ONE』」を基本コンセプトとし、以下の6つの方針をもとにした提案が提出されました。

- ・市・設計チーム・DX チームが三位一体となって以下を実現し、ひとつながりとなった未来の庁舎である「鎌倉 ONE」をつくります。

『鎌倉 ONE』

- 行政サービスを行うデータベースの一元化
- ソフト・ハード・DX の一体化した「市役所」
- 既存行政施設を一つにつなぐ行政施設ネットワークの構築

<鎌倉ONEの6つの方針>



1 ノンダウン災害拠点市庁舎

災害(相模トラフ・南海トラフ地震)に徹底して備え、被災時も鎌倉市全体の意思決定拠点として機能する「最高レベル・ノンダウン市庁舎」をつくります。



2 DXによるコンパクトな市庁舎

DXによる空間の「シェア」を可能にし、市民・職員の多様な活動を融合させ、コンパクトな庁舎をつくります。



3 新しい鎌倉の杜となる公園のような市庁舎

深沢のまちづくり方針に沿い、街と繋がり人々が集う、鎌倉らしい公園のような市庁舎をつくります。



4 多様な人を呼び込む市庁舎

鎌倉の情報が集まり発信され、好奇心を掻き立てられるヒト、モノ、コトに出会える市民の活力があつまる庁舎をつくります。



5 ソフト・ハード・デジタルの三位一体段階移行

市民・職員のデジタルリテラシーの向上を想定し、段階的なDX化をソフト・ハード・デジタルが三位一体となって検討します。



6 つながる統合プラットフォーム「鎌倉ONE」

行政情報をプラットフォーム「鎌倉ONE」に集約する事で、市内に散らばる行政施設をつなぎ、利便性の高いサービスと職員の自由な働き方を実現します。

～つながる～

○市民との共創を支えるコミュニケーションと交流空間

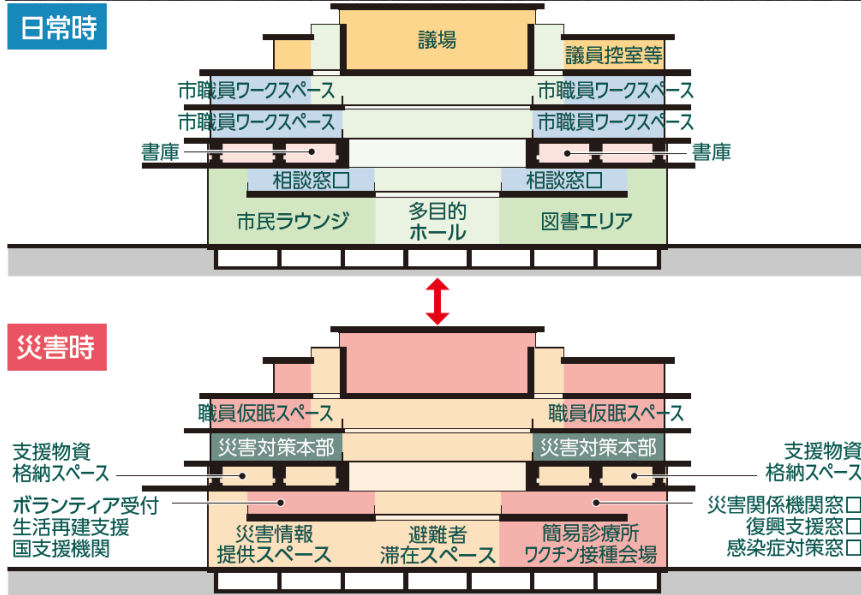
- ・「溜まりバ」「魅せるバ」「政（まつ）りバ」などの交流空間を設けており、見通しの良い一体空間とし、様々な活動を行う人々が共存する鎌倉らしい生き活きとした空間を創造する



～まもる～

○災害時に頼れる防災拠点機能

- ・ 日常時は、図書エリア、多目的ホール、市民ラウンジなどになっている 1 階部分が、災害時には、避難者滞在スペースなどに機能が切り替わるようになっており、災害拠点として機能するために様々な災害に対して 7 日間の継続使用を可能にする



日常時と非日常時の機能イメージ

～やさしい～

○市民の利便性に配慮した窓口サービスと窓口空間

- ・すべての鎌倉市民が気持ちよく利用できる窓口サービスと窓口空間の実現
- ・将来的に全ての手続き・相談がオンラインでできるように、窓口空間にはフレキシビリティを持たせる計画で、開庁時は、窓口を設けているスペースが、オンライン化が完了した際には、オープンな相談スペースに生まれ変わる



※記者発表資料内の画像についての著作権は株式会社日建設計が有します。

実施されたプロポーザルの最優秀提案者の提案内容を周知するために、
企画提案書の画像を複製して利用すること（新聞・ブログ等の記事や SNS への投稿など）については、
著作権者より了解を得ています。